

■ HRD FINE ART 展覧会開催のご案内 ■

鈴木 崇 個展

Are you my echo.

会 場： HRDファインアート（京都市上京区上御霊壱町494-1）

会 期： 2021年 9月2日（木）～ 10月2日（土）

時 間： 木曜日 11:00～15:00（9月2日と23日は19:00まで）

金・土曜日 および 9月2日(木)・19日(日)・20日(月・祝)・23日(木・祝) 11:00～19:00

休 廊： 日～水曜日

（事前のアポイントにより観覧可能です／上記のとおり9月19日（日）と20日（月・祝）は特別にオープンします）

【展覧会概要】

HRDファインアートでは、9月2日から10月2日までの会期で鈴木崇の個展「Are you my echo.」を開催します。HRDファインアートでは作家の初の個展となります。また、本展は「KYOTOGRAPHIE 京都国際写真祭」のサテライトイベント「KG+ 2021」の参加展覧会です。

鈴木崇は 1971 年京都生まれ。米国ボストンのアート・インスティテュート・オブ・ボストンや、ドイツ・デュッセルドルフのデュッセルドルフ芸術アカデミーで学びました。

鈴木崇の制作は視覚を通した「知覚」と「理解」の関係性をテーマとしています。現実には起きている現象と、それを捉えたイメージとの誤差やズレ、それによって引き起こされる人間の意識の揺らぎを、写真を起点に、しかし写真というメディアにとどまることなくオブジェや映像なども用いて、重層的に提示しています。

本展は、あるひとつのキーワードを設定し、それに基づいて展示会場全体を実験的なモンタージュ空間として捉えて構成するという、鈴木が近年取り組んでいる手法による展示となります。今回のキーワードとなるのは「エコー」。築 90 年超の町家建築を用いたギャラリー空間に、エコーという現象と概念（コンセプト）が輻輳的に響き合う空間が創出されます。

【アーティストからのメッセージ】

私は近年、作品を作るときに浮かんでくるアイデア同士をモンタージュしていくことに強く関心を抱いている。

それぞれの作品は思考する中で生み出された断片であり、それらのイメージやパターンは衝突しながらお互いに干渉して、点から線そして面となり最後には何らかの形となっていく、そういったものであって欲しいと思っている。

同時にそれぞれのイメージとイメージの間には、私が意図しているものよりも偶然性が優先された相乗作用が存在することを期待している。

鈴木 崇

【展示作品】 (予定)



Are you my echo.

ピグメントプリント 95×70cm 2021年

【作家略歴】

鈴木 崇

Takashi SUZUKI

1971 京都生まれ
 1996 アート・インスティテュート・オブ・ボストン写真学科卒業
 2001-02 デュッセルドルフ芸術アカデミー トーマス・ルフ・クラス研究生
 現在、京都在住

主な個展

2002 「Haut」 Artislong Gallery (京都)
 2004 「Altus」 The Third Gallery Aya (大阪)
 2006 「Altus-spatium」 The Third Gallery Aya (大阪)
 2008 「ARCA」 The Third Gallery Aya (大阪)
 2010 「BAU」 rep + Super Window Project (京都)
 2015 「Form Philia」 IMA Gallery (東京)
 2019 「Though this be madness, yet there might be method in't」 IG Photo Gallery (東京)
 「みる」 アートカゲヤマ (静岡)
 2020 「Quiet Riot」 Media Shop Gallery (京都)

主なグループ展

2002 「Rundgang」 デュッセルドルフ芸術アカデミー (デュッセルドルフ)
 2003 「2002年度ヤングポートフォリオ展」 清里フォトアートミュージアム (山梨)
 「DOUBLE SENSE 野村仁 x 鈴木崇」 galerie16 (京都)
 2004 「コレクション展」 The Third Gallery Aya (大阪)
 2005 「Art Court Frontier 2005」 アートコートギャラリー (大阪)
 2006 「写真の現在3：臨界をめぐる6つの試論」 東京国立近代美術館 (東京)
 2007 「Young Japanese Landscape/ landscape in the past, and the future」 MOYA (ウィーン)
 2009 「No Man's Land」 フランス大使館 (東京)
 2010 「Emerging Asian Artists」 Art Gwangju 2010 (光州)
 「マイ・フェイバリット - とある美術の検索目録／所蔵作品から」 京都国立近代美術館 (京都)
 「Sense Perception」 The Third Gallery Aya (大阪)
 2011 「Exchange Osaka - Tokyo」 SANAGI FINE ARTS (東京)
 「着想のユートピア CURATORIAL LIBRARY」 神戸芸術工科大学ギャラリーセレンディ
 ヴィップ (兵庫)
 「Une fenêtre japonaise」 galerie de multiples (パリ)
 「PACIFIC」 Scion Installation L.A. Gallery (ロサンゼルス)
 2012 「消息 - Presage -」 HI-NEST BLDG (京都)
 「Quiet Moments」 The Third Gallery Aya (大阪)

- 2013 「ZINE / BOOK GALLERY ! 2013」宝塚メディア図書館（兵庫）
2014 「これからの写真」愛知県美術館（愛知）
「Coincidental Perception」KUNST ARZT（京都）
「cognition / recognition」UltraSuperNew Gallery（東京）
2015 「kiseki 秘仏本尊十一面観世音像 御開帳記念プロジェクト」観音寺正月堂客殿（三重）
「Scotiabank CONTACT Photography Festival 2015」（トロント）
2016 「オーダーメイド：それぞれの展覧会」京都国立近代美術館（京都）
「クロニクル、クロニクル！」Creative Center OSAKA（大阪）
2017 「クロニクル、クロニクル！」Creative Center OSAKA（大阪）
2018 「Ni'homme - summer group exhibition」Ibashi Gallery（アントワープ）
2019 「浅間国際写真フェスティバル PHOTO MIYOTA」御代田写真美術館（長野）
「びじゅつじょろん」藤枝市民会館（静岡）
2020 「real SOU #5 "Walking"」茨木市本町センター（大阪）
2021 「Sync - eternal commons / ephemeral being」Good Nature Station Gallery（京都）

作品収蔵

- 清里フォトアートミュージアム（山梨）
東京国立近代美術館（東京）
京都国立近代美術館（京都）

【感染対策について】

HRD ファインアートでは、展示プログラムの再開にあたり、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の感染拡大防止対応として、以下の措置を導入・実施いたします。

① オープニングレセプションの中止

従来、展覧会初日にアーティストを囲んでオープニングレセプションを開催してきましたが、当面の間これをすべて中止します。

② 検温・不織布マスク着用・手指消毒の徹底

ご来場の方は、事前（当日）に検温をお願いいたします（会場で非接触式体温計による検温をお願いする場合があります）。37.5℃以上の熱のある方や咳等の呼吸器症状のある方はご来場をお断りします。また、来場時は不織布マスクまたは同等以上の感染防止性能を持つマスクの着用をお願いします（ウレタンマスク、布マスク、ガーゼマスクでご来場の方には未使用の不織布マスクをお渡ししますので、そちらを着用してください）。健康上の理由等によりマスクを着用することができない場合は、事前にお申し出ください。また、ギャラリー入口に設置する手指消毒用のアルコールでの手指消毒をお願いします。

③ 来場人数制限の実施

ギャラリー内の混雑を避けるため、来場人数の制限を設け、ギャラリーへの入場をお待ちいただく場合があります。

④ 臨時休業・完全アポイント制への移行の可能性

新型コロナウイルスの感染拡大を見極め、状況に応じてギャラリーを臨時に休業、または事前アポイントによる完全予約制とさせていただく可能性もあります。こうした場合は、ギャラリーのウェブサイト www.hrdfineart.com や SNS のチャンネルを通じて、なるべく早い段階で告知を行います。

お問い合わせ：HRD FINE ART（エイチアールディー・ファインアート）

住所：〒602-0896 京都市上京区上御霊壱町494-1
 電話：090-9015-6087（担当：原田）
 ウェブ：<http://www.hrdfineart.com>
 Eメール：info@hrdfineart.com

